



横浜市立万騎が原中学校 学校だより

桐の花

令和3年

12月20日

校長 中村 雅一

横浜市旭区万騎が原 31 TEL 045-391-5514 FAX 045-391-5537

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/makigahara/index.cfm>

『困難に向かう勇気』

校長 中村 雅一

2021年も残すところ、あとわずかになりました。

現在もコロナ禍にあります。10月の桐花祭も無事に終えることができました。2年越しの、練習時間も限られた中での実施でしたが、その取組や当日の発表は大変すばらしく、万騎中生の底力を感じることができました。特に、3年生は前期の体育祭同様、万騎中桐花祭の伝統を後輩たちに伝えつなげてくれました。ありがとうございました。また、先日は、2年生の延期されていた東京校外活動も無事に実施できました。そして、今週はいよいよ、3年生の京都・奈良への修学旅行が実施されます。無事に行き帰ってくるのがミッションではありますが、昨年度は新型コロナで校外活動が実施できなかった学年だけに、事前に学習した文化遺産の見学や仲間との交友を楽しみにしていることと思います。

現在、コロナの感染者数が大きく減少した日本ですが、感染速度が速いと言われる新たな変異株「オミクロン株」の国内への侵入を防ぐべく空港検疫での水際対策がとられています。しかし、空港検疫での陽性者の濃厚接触者が自宅待機中に発熱し陽性と判明したことから、空港での水際対策はあくまでこれから起こるであろう市中感染を遅らせるための時間稼ぎであるという理解が必要です。引き続き、気を緩めることなく、特に家庭や学校は一度持ち込まれると広がりやすいので、基本的な感染予防対策の徹底が大事です。寒くなると換気がしづらくなりますが定期的な換気にも気を配り、具合が悪いと感じたときは、無理をせず休むということも引き続きよろしく願います。

さて、自分が願うことがすべて叶い、これまで一度も挫折することなく、時に何かにつまずくことがあっても、自分の思い通りの人生を送ってきた人は少なからずいると思います。大きな病気になったこともなく、健康な生活を送ってきたという人もいるでしょう。しかし、順風満帆の幸福な人生を送ってきたと思っている人でも、人生の行く手をさえぎり、はばむ出来事に遭遇することがあります。87歳になる私の母もここにきて入院を繰り返しており、誰もが病気や老い、そして死を避けることはできないのだと思います。老いとはまだ無縁だと思っている若い君たちでも突然病気になることもあります。不意の事故にあって大きな怪我をするかもしれません。その意味では、地震、津波、台風、豪雨といった自然災害にだって、いつ遭うかわからないです。新型コロナウイルスにだって、いつ感染し命の危険にさらされるか、誰もわかりません。

友人と東京ディズニーランドに出かける計画を立てていたのに、電車事故のため出かけられなくなるというようなことであれば、機会を改めて出かければいだけであり、人生に大きな支障をきたすことはないです。しかし、病気になり、そのために好きなスポーツができなくなる、あるいは仕事を失うようなことになって、もはや起死回生はできないと思えば、これからの人生をどう生きていいのかと絶望することになるかもしれません。高校への進学も好きな部活も志半ばで、諦めなければならぬと知ったとき、生きていく勇気を失うことは想像するに難しいことではないです。この自分が望むように生きることを困難にし、人生の行く手をさえぎるかのような出来事に、中学3年生の12月、まさに今のこの時期に遭遇した、私たち万騎が原中学校卒業の先輩（万騎が原小出身）がいます。

今年の東京パラリンピック車いす女子バスケットボール日本代表のキャプテンを務めた藤井郁美選手です。藤井選手は、小学校3年生からバスケットボールを始め、万騎中女子バスケット部ではキャプテンとして活躍し、中3では強豪校からの推薦が来るほどの選手だったそうです。しかし、中3の時に、右ひざに痛みを覚えて病院に行ったところ、悪性の骨肉腫（骨のがん）と診断され、ひざ関節と大腿骨の一部を腫瘍と一緒に切除、膝を人工関

節にする大きな手術を受けました。歩けるようになったものの、右下肢機能に障がいがあり、今までのように走ったり跳んだりするバスケはできなくなってしまいました。一年間に及ぶ抗がん剤治療のあと、推薦をもらった高校には進学できませんでしたが、一年遅れで県立高校に入学しました。高校ではバスケ部の顧問や同級生に声を掛けられ、バスケ部のマネージャーになりました。ところが、二度目の不運が藤井選手を襲います。高3の19歳の時、潰瘍性大腸炎を発症したのです。潰瘍性大腸炎とは、大腸に潰瘍ができる病気で、下血や下痢の症状が出る病気です。藤井選手は、生死にかかわる状態になり、大腸をすべて摘出しました。長期の入院生活を終え、高校を無事卒業しました。その後、かつての高校バスケ部顧問の先生から在学中より、車いすバスケのプレーヤーへの道を勧められていたこともあって、車いすバスケを始めたそうです。20歳の頃です。その後、結婚され第一子を授かり、母乳をあげている時に気づいたのが乳がんです。2017年に発症しましたが、手術のわずか10日後に練習復帰されています。アジア・オセアニア予選が控えていたからです。藤井選手を練習へと導いたのは、2016年のリオパラリンピック予選から主将としてチームを引っ張ってきた責任感や試合に勝ちたい気持ち、周りへの感謝の気持ちからのようです。こうして、三度の大病を乗り越えて立ったこの夏の東京パラリンピックの舞台、日本代表キャプテンとして13年ぶりのパラリンピック出場を果たし、若手をけん引してチームを世界6位に導く功績を残されました。

そんな、私たち万騎が原中学校にとっても誇りある藤井選手が来年2月に本校体育館に来て、3年生の皆さんにお話をしていただけることになりました。1、2年生や保護者の皆様にも藤井選手のお話を届けられるようにしたいと考えています。

自分が望むように生きることを困難にし、人生の行く手をさえぎるかのような出来事に遭遇した時に、ただ諦め絶望するしかないのでしょうか。困難な出来事がまったく起こらないような順風満帆な人生を約束された人は誰一人としていないのだと思います。では、行く手をさえぎられたからといって諦めたくはない、という時、どうすればいいか。そもそも絶望せず諦めない気持ちはどうしたら持てるのか。先輩、藤井選手のお話から、「困難に向かう勇氣」については是非、考える機会になればと考えています。それは、まだ若いゆえに、君たちのほとんどの人がこれから個人的な、内面的な何らかの危機や困難を経験するであろうからです。

危機や困難に向き合い、その危機を好機、チャンスへと変えるための第一歩は「自分は危機にある」と認め、問題を引き起こした原因や状況について気づかなければいけません。今、危機や困難の真ただ中にあるという人は、避けることができないその危機をどう受け止めるかは自分が決められることを忘れないでください。今、自分のところが置かれている状況に気づき、まず、自分の力でできることとできないことを時間をかけてでも見極めてください。

おわりに、コロナ禍の世界で、若者たちの共感を呼んだというサティシュ・クマール氏著書『エレガント・シンプリシティ』からの引用です。

真の学びは発見のプロセスです。学びは時間との競争ではなく、試験に受かるとか、いい成績をとるとかは関係ないです。

本当の学びは、自己実現の過程です。

学びが自分の人生に役立つことを知ったとき、自分自身を表現できたとき、自分がコミュニティの一部を担っていると感じたときなど、経験が感動を生むときに本当の学びが起きるのです。

ヒンドゥー教のカルマ・ヨガに「行為の果実を求めることなく、それを行う」という教えがあるそうです。結果を求めたり利益を期待したりするのではなく、ただ日々善い行為を、為すべき行為を結果にとらわれず積み重ねることが大切という教えです。完全に無私の行いができる人はなかなかいませんが、結果に執着しすぎて自分を見失うことには気を付けたいです。

受験生の3年生をはじめ、すべての万騎中生が、あらゆる危機や困難をも乗り越えて前に進んでいくことを強く願っています。

横浜F・マリノスからドイツ1部リーグのユニオン・ベルリンへ移籍した本校卒業生の遠藤溪太選手の言葉を。「どんな壁に当たっても、泥水をすすってでも、何かをつかんでこようと思っています」

(令和3年 12月15日)

自動水栓を設置しました

11月18日付のPTAだよりも、掲載されておりましたが、校舎内のほぼ全ての流し場（手洗い場）に、自動水栓を設置しました。自動水栓の設置に関しては、手洗いの際に少しでも安心して水道が使えるようにという事で、生徒総会でも生徒からの要望としてあがっておりました。そこで、PTA本部の方々と協議し、令和3年度PTA予算環境整備費（新型コロナウイルス感染症対策）から、費用を捻出し、自動水栓の機器を購入、設置しました。生徒の皆さんの日々の生活の安心につながればと思います。活用してください。



東京校外学習（2年生）

12月15日（火）2年生が、校外学習へ行ってまいりました。感染予防のため、移動は、貸し切りバスを使って行いました。浅草演芸ホールで、寄席を見学した後、上野へ移動し、グループ別活動を行いました。当日は、横浜で今年の初雪が観測されるほど、寒い一日でした。東京も冷たい雨の降る中ではありましたが、生徒たちは、自分たちで立てた計画に沿ってグループで協力し合いながら、活動を行いました。バスの乗車マナー、寄席を楽しむ様子、昼食の黙食、グループでの活動等、万騎中生として素晴らしい姿が見られました。次年度の修学旅行へつながる校外学習になりました。



東京校外学習を終えて

実行委員長（生徒）

2年生の皆さんは、今回の東京校外学習でたくさんのものを見て、感じ、様々なことを学ぶことができたでしょうか。

私は、浅草演芸ホールで、人の温かさを感じました。出演者の皆さんが、「こんなに客席が多くのお客さんで埋まるのは久しぶりだ」と感激し、心の底からの笑顔で演じていただき、客席からも自然と感嘆の声や、笑い声が出る素晴らしい寄席を見せていただきました。このような出演者と客である私たちのやりとりに、客席が温かい雰囲気になり、私は、人の温かさを感じました。

浅草の町並みは、他の場所にはないようなものばかりで、学びの連続でした。班のみんなと協力し、楽しくたくさんのことを学べたと思います。考えた時間通りに、動くことができず、最後は急ぎ足になってしまったことは、反省点です。

次は、3年生の修学旅行です。2年生の皆さんも課題が見つかったかもしれませんので、今回の校外学習で上手いかなかったことを、明確にし、改善して次の修学旅行につなげていきましょう。

東京校外学習を振り返って

実行委員長（職員）

あいにくの天候ではありましたが、無事に東京校外学習を実施することが出来ました。大きなケガやトラブル等もなく1日を終わることができました。本来、5月に実施される予定でしたが、12月に延期となり、ご心配をおかけしたのではないかと感じております。ですが、延期されたことによって変わったことがありました。それは、桐花祭を経験しクラスの団結力が高まっての班活動です。5月から12月に延期されたため、班別自主行動のコースを再検討しました。4月に比べると班員同士の会話も増え、お互いの意見を聞き合い、良い雰囲気です。事前学習ができたこと職員は感じております。浅草演芸ホールでの鑑賞態度も非常に良かったです。静かに聞くときは聞く。盛り上がる時は盛り上がる。急な指名にも立派にやり遂げる生徒。感心しました。班別自主行動では、多くの班がチェックポイントに時間内に到着し、ケンカやトラブルの報告はありませんでした。

東京校外学習のスローガンは「つなぐ～伝統と三年へ～」です。今回の経験を、今後の学校生活に「つなぐ」こと、来年度の修学旅行に「つなぐ」ことが出来るきっかけになったのではないかと考えています。無事に実施することが出来たのも、日頃からの体調管理をはじめ、多くの部分でサポートをしてくださる保護者様の方のおかげです。今後とも万騎が原中学校の教育活動にご理解とご協力の程をよろしくお願いいたします。



1・2月の予定をお知らせします

※予定ですので、感染の状況等により大幅に変更になる場合もあります。

1月				2月			
日	曜	行事等	昼食	日	曜	行事等	昼食
1	土			1	火		○
2	日			2	水		○
3	月			3	木	3年後期期末テスト(国・数・理・社)	3年×
4	火			4	金	志願変更期間～8日	○
5	水			5	土		
6	木			6	日		
7	金	朝会・生徒会役員認証式	○	7	月		○
8	土			8	火		○
9	日			9	水	1年百人一首大会	○
10	月	成人の日		10	木	2年百人一首大会 私学一般入試	3年×
11	火	おはよう週間(～10日) 生命と性の健康教育1・2年	○	11	金	建国記念の日	
12	水	防災教室 書初めクラス展示	○	12	土		
13	木		○	13	日		
14	金	生徒集会	○	14	月	1・2年期末テスト(技家・音・体)	×
15	土			15	火	1・2年期末テスト(理・国・社) 共通選抜(学力検査)	×
16	日			16	水	1・2年期末テスト(英・数) 共通選抜(面接等)	×
17	月		○	17	木	共通選抜(面接等)	3年×
18	火	学校保健委員会	○	18	金		3年×
19	水		○	19	土		
20	木	職業講話1年 職場体験2年	○	20	日		
21	金		○	21	月	藤井選手講演	3年×
22	土			22	火		3年×
23	日			23	水	天皇誕生日	
24	月		○	24	木		3年×
25	火	公立共通選抜出願郵送募集期間～27日	○	25	金		3年×
26	水	3年私学一般出願	○	26	土		
27	木		○	27	日		
28	金	公立共通選抜出願窓口募集期間～2/1	○	28	月		3年×
29	土						
30	日						
31	月		○				

○●○○○○●○○○○●○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○

学校カウンセラー(松葉優香)による相談

1月の相談日は

1月7日(金)・14日(金)・21日(金)・28日(金)です。

相談予約等は、本校職員または相談室直通電話(391-5891)まで。

○●○○○○●○○○○●○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○